

就労支援だより

令和5年11月10日 第5号

PTA進路研修会

10月11日（水）に、株式会社ホンダテクノフォートの木村様、株式会社カンセキの後藤様、県南圏域障害者就業・生活支援センターの梁島様をお迎えして、PTA主催の進路研修会を実施しました。

今回は、初の試みとして、三つのテーマでパネルディスカッション形式での研修会となりました。テーマは、①就職するまでに必要な力 ②働くことを続けるために必要な力 ③企業の支援と保護者に求める支援 の三つです。

研修の内容を簡単にまとめると以下のとおりです。

①就職するまでに必要な力とは…

- ・職業準備性ピラミッドの土台の部分である、「規則正しい生活」「体調管理」「体力」は最低条件。
- ・基本的なコミュニケーション（挨拶・報告・連絡・相談）ができること。感謝の気持ちと謝罪を表せること。（「ありがとう」と「すみません」が言える。）
- ・素直に助言が聞けること。（素直に助言を聞けないと仕事が身に付かないため。）
- ・主体的に生活する力。（ご飯を作る、一人で病院へ行く等）
- 「できる」ではなく、「している」ことが大切。

②働くことを続けるために必要な力とは…

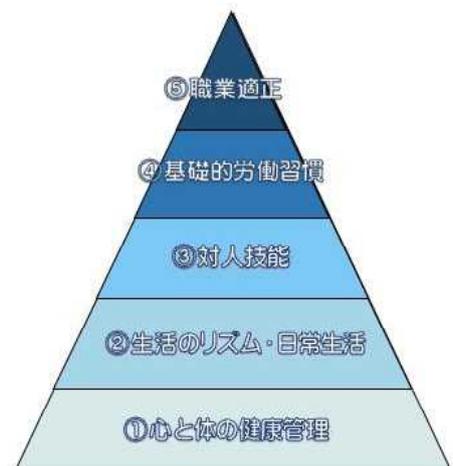
- ・心と体の健康管理。（学校生活よりも体力的にも気持ち的にもストレスが多くなる。）
- ・会社のルールを理解して、従うこと。
- ・変化への対応力。（職場の上司や同僚が替わった時等の環境の変化など。）
- ・問題解決をする力。

③会社の支援と保護者に求める支援…

- ・会社の支援体制…定期的な面談や従業員への啓発（企業によって異なる。）
- ・保護者に求める支援…心と体の健康管理。（話を聞いてほしい。→気持ちの共有。）
自立に向けたサポート。
小さな変化でもすぐに相談。

就労支援だより第3号で取り上げた、「職業準備性ピラミッド」（右図）についての話が多く出ていました。就労支援だよりでも示したとおり、ピラミッドの①②の土台部分は、就労する上でとても大切です。学生生活のうちに身に付けておいてほしいということでした。就労を目前とした3年生だけでなく、1、2年生も改めて意識して、今後取り組んでほしいと思います。

また、自立に向けて、生徒自身が自分で生活していく力をつけるため、できることを増やし、それを習慣化できるようにご家庭でもご支援をよろしくお願いいたします。



「職業準備性ピラミッド」